

松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 424号 2021年(令和3年)12月号

秋も深まり、朝晩はすっかり寒くなって富士山も真っ白に雪化粧となる時節になりました。紅葉も見頃の様子で、名所には多くの見物客が訪れる等、これまでのコロナ規制が緩和されて、飲食店や温泉処にも客足が戻りつつある様です。会員の皆様におかれても、今までの自粛・巣ごもりの生活から徐々に抜け出し、好季節の今を旅行や会食などに出向いて、リフレッシュされては如何でしょうか。新型コロナウイルスの完全収束などは識者によれば、それは無理との意見のようですので、今までの予防策は—マスク着用、手洗い、換気、密の回避—などを維持しながら、徐々に以前の日常生活に戻りましょう。

11月度定例会 11月13日 10:00~11:30 (土)は開催致します。約1年振りの開催ですが、最近の東京、神奈川はじめ全国的にもコロナ感染者数が1年ぶりに最小になってきていること、ワクチン接種が若年者層にも浸透してきたことなどを勘案して決定しました。しかしながら、コロナ禍は完全に収束したわけではないので、これまで通りの予防策が必要です。当日は飲食や合唱などは取り止め、誕生会の他、出席各位の今までの非日常生活などについての感想などを話し合う場とし、久方振りに会員相互の絆を確認する機会としたい考えです。従って、平熱、マスク着用が条件で体調に問題ある方は無理されず出席はご遠慮下さい。

連絡事項

①12月誕生の方々：松田晴子さん、佐々木和子さん、町田淳子さん、山口正美さん、の方々です。
おめでとうございます。

②茅老連関係：11月4日に代表理事のみで開催されました。

1. 「老人クラブ大会」⇒11月17日(水)式典(表彰・大会宣言)のみ。出席者は受賞者、実行委員
2. 社会奉仕活動「植栽」⇒茅ヶ崎市民文化会館周辺の除草作業・植栽を11月4日実施
3. 新型コロナウイルス感染のまん延防止で延期になった事業について
 - ・グラウンド・ゴルフ大会⇒令和4年2月25日に実施予定(予備日:2月28日)
 - ・趣味の作品展⇒令和4年2月8日~10日に実施予定です

2月15日の麻雀大会や老人大学、春の一泊旅行(3月14日~15日)はまだ未定です。

リレー随筆(14)

手島歩三

釣りキチです

西湘の磯に通い始めて40年以上になった。小田原から伊豆高原下の城ヶ崎まで、ほとんど歩きで穴場を探した。ある磯でさっぱり釣れなかった。諦めて寝転がり、空を眺めていると、耳もとで波音がうるさい。下を見ると岩の隙間に穴があり、波が見える。「これは」と思い、1mほどの糸に針と餌を付け、手ですきまに糸を垂らした。心地よい手ごたえがあり、20cmのカサゴが釣れた。少し撒き餌を落とすと、次々と釣れて来る。これこそ本当の穴場だ！ 10匹以上釣ったところで、飽きて、他の場所に移った。30cmのメジナが釣れた。駐車場からごろた石浜を徒歩約40分。減多に釣り人も行かない場所なので、内緒にしておこう。皆さん、魚は足で歩いて釣るものです。

(次回は池上さんをお願いします)

藤井将棋プロの封じ手がネットオークションで販売

10/3 付朝日新聞記事によると、首題封じ手が1,500万円で落札された由。“封じ手”とは、2日制のタイトル戦で、1日目の終了時に手番の対局者が次の一手を封じ手、用紙に書き封筒に取め、封印したもの。立会人が保管し、その指し手は翌朝開封される迄記した本人しか分からない。この封じ手がオークションに3回、出品されたが、反響は予想以上で、落札額は550万円、200万円および1,500万円、合計2,250万円の値が付いた。幾ら今を時めく人気棋士とは言え、1回の封じ手に1,500万円の値が付くとは、世の中一体どうなっているのか？

11月号 News:「読めそうで詠めない漢字」の解答

1. 濯ぐ→ゆすぐ 2. 咲う→わらう 3. 懇ろ→ねんごろ 4. 背う→うべなう 5. 悪む→にくむ 6. 胡坐→あぐら
7. 論う→あげつらう 8. 恰も→あたかも 9. 木耳→きくらげ 10. 強ち→あながち 11. 泡銭→あぶくぜに
12. 剩え→あまつさえ 13. 肖る→あやかる 14. 聊か→いささか 15. 甚振る→いたぶる 16. 労わる→いたわる
17. 況や→いわんや 18. 転寝→うたたね 19. 夥しい→おびただしい

正答者は川口さん、亀田さん、田中さん、小松さん の4名でした。薄謝進呈します。次回もお楽しみに！

つれづれ随想

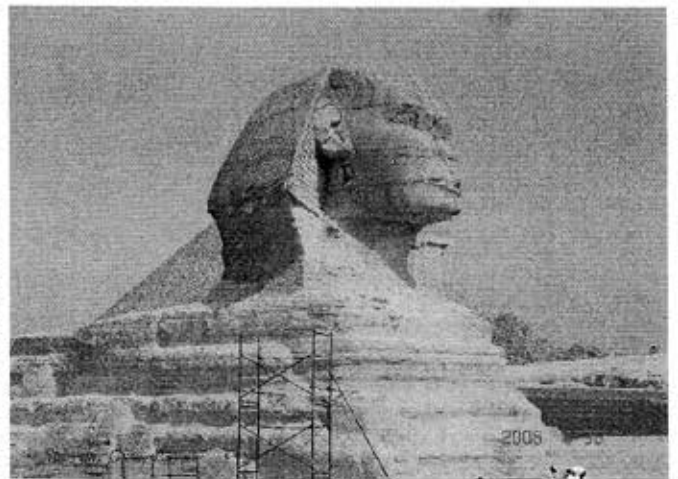
田中久夫

こつあげ

葬儀の最後は火葬場行きである。兄の葬儀の時だが、火葬場で、骨を骨壺に入れる段になっても、なぜか、悲しみがわかない。骨を拾うことを骨(コツ)上げというが、石を箸で拾っている感覚である。愛する人の骨をペンダントにしている人がいるというが、多分彼女には宝石以上の石なのであろう。係りの人が「これは仏様に似ているので『喉仏』といいます」と言って最後にその骨を壺に入れたが、クリスチャンなら何とこのかなどと妙なことを考えていた。葬儀がすべて終わり、よる遅く寝床に入ると、なき兄の顔が浮かんで来て、どっと悲しみが湧いてきた。私に頭の中ではまだ、茶毘にふしていないのであろう。



世界遺産：日本シリーズ 島根 石見銀山の発掘入り口



エジプト：ギザのスフィンクス

偉大な王を現す神聖な存在(真野さん提供)